

# 温州ミカン新品種 ‘きゅうき’ の 品種特性と導入にあたっての注意点



和歌山県におけるウンシュウミカンの品種別収穫期の目安

		9月			10月			11月			12月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
極早生	<b>Y N 2 6</b>		■	■	■								
	<b>ゆら早生</b>				■	■							
	上野早生・日南1号				■	■							
早生	<b>田口早生</b>						■	■	■				
	宮川早生・興津早生						■	■	■				
中生	向山温州									■	■	■	■
	<b>きゅうき</b>									■	■	■	■
晩生	林温州										■	■	■
	<b>丹生系・紀の国温州</b>											■	■

太字は和歌山県オリジナル品種

## はじめに

‘きゅうき’は本県の主力中生ウンシュウミカンである‘向山温州’と比べて、「浮皮」が少ない県オリジナル品種です。本資料では、‘きゅうき’育成地における特性調査の結果および条件の異なる複数園地での調査結果をとりまとめたものです。

本資料が‘きゅうき’の品種特性に関する理解を深め、新規導入に際しての参考になれば幸いです。なお、適正な栽培管理技術については、引き続き検討を重ね、成果が得られ次第随時公表します。

## 選抜の過程

‘きゅうき’は、1960年頃に購入された‘向山温州’の苗木に混入していた「1樹変異」と考えられます。育成地は有田市宮原町（標高200mの日照条件が良好な有田川北岸の南面斜面）です。2004年から実施している「枝変わり探索」で調査した個体の中から、特に浮皮が少なく豊産性で、じょうのう膜が薄く、食味も良好であったため、選抜されました。その後、2011年3月15日に品種登録出願を行い、2014年2月27日に登録されました（登録番号23036）。

## 品種の特性（育成地での調査）

### (1) 樹体特性

- ・ 樹勢は中。強勢な枝の発生は比較的少なく、樹姿は早生品種に似ます（図1、2）。
- ・ ‘向山温州’より節間は短く、葉は小さいです（図3）。



図1 ‘きゅうき’の樹姿（原木）



図2 ‘きゅうき’の春枝伸長の様子

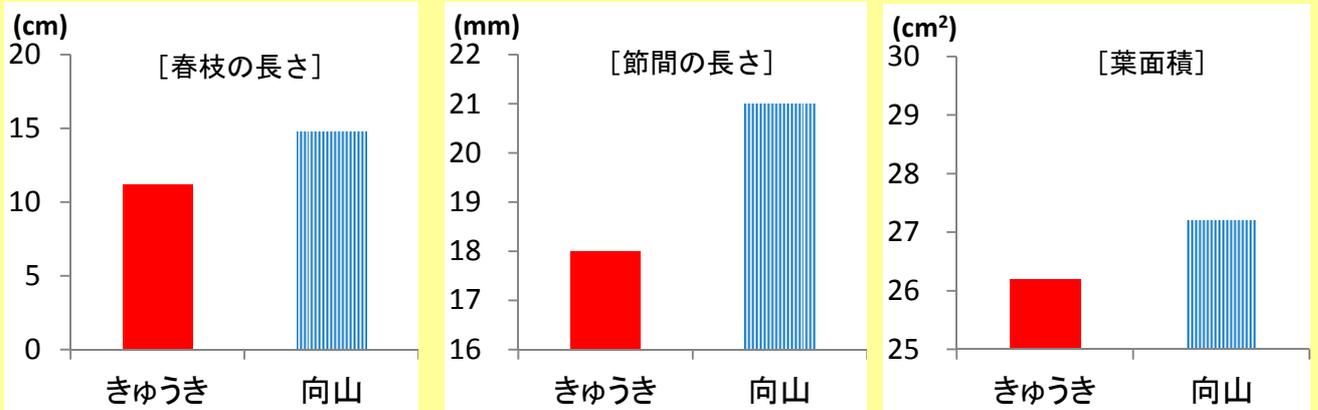


図3 ‘きゅうき’と‘向山温州’の春枝の長さ、節間の長さおよび葉面積

## (2) 果実特性

- ・ ‘向山温州’ より浮皮の発生は少ないです (表 1. 浮皮程度)。
- ・ 果実の外観は、やや腰高です (図 4、表 1. 果形指数)。
- ・ 完全着色期は 12 月上旬 です (図 4)。
- ・ 糖度は ‘向山温州’ と同程度で、クエン酸含有率は ‘向山温州’ と同程度かやや低いです (表 1)。
- ・ じょうのう膜は薄く、早生温州のような食味です (図 5)。

表 1 育成地の果実品質 (2011 年～2015 年)

調査年月日	品 種	横径 (mm)	果形指数 (横径/縦径)×100	果実重 (g)	糖度 Brix	クエン酸 (%)	浮皮程度 (0~3)
2011/12/1	きゅうき 原木	68.9	133	128	13.5	0.92	0.0
	きゅうき 高接ぎ	68.9	119	134	11.3	0.86	0.0
	向 山	68.9	135	124	13.7	0.90	0.6
2012/12/4	きゅうき 原木	60.3	125	90	14.2	0.94	0.0
	きゅうき 高接ぎ	60.7	132	87	13.1	0.68	0.0
	向 山	64.0	138	92	12.7	0.96	0.8
2013/12/3	きゅうき 原木	63.3	124	110	13.4	0.78	0.0
	きゅうき 高接ぎ	64.3	132	113	12.4	0.84	0.0
	向 山	65.6	138	104	13.0	0.91	0.5
2014/12/3	きゅうき 原木	65.1	123	109	13.3	0.95	0.2
	きゅうき 高接ぎ	67.5	128	114	12.5	0.69	0.4
	向 山	64.9	138	99	13.8	0.97	0.2
2015/12/3	きゅうき 原木	62.2	127	97	15.5	0.87	0.2
	きゅうき 高接ぎ	64.8	121	112	13.8	1.01	0.0
	向 山	63.8	126	102	14.7	0.85	0.2

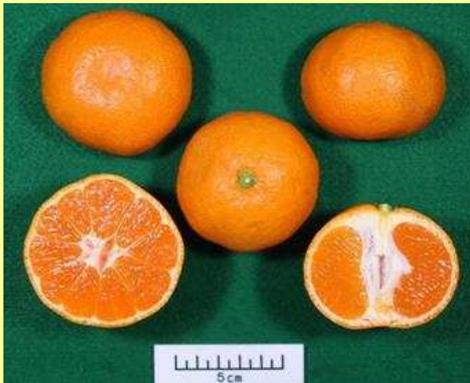


図 4 ‘きゅうき’ 果実 (2012 年 12 月 4 日)

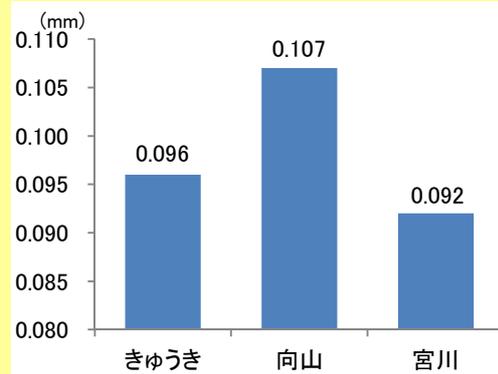


図 5 各品種のじょうのう膜の厚さ

## 育成地とは異なる園地条件での調査結果

- ・ いずれの園地でも ‘きゅうき’ は ‘向山温州’ より浮皮の発生が少ないです (表 2、図 6)。
- ・ 果実品質は ‘向山温州’ と同程度です (データ略)。

表 2 ‘きゅうき’ 現地高接ぎ園の園地条件

園地名	接ぎ木年	園地条件	
		標高(m)	向き
湯浅町山田	2013	40	北西
湯浅町田	2013	122	南
有田川町吉原	2011	89	北東

各園とも日当たりは良好な緩傾斜地

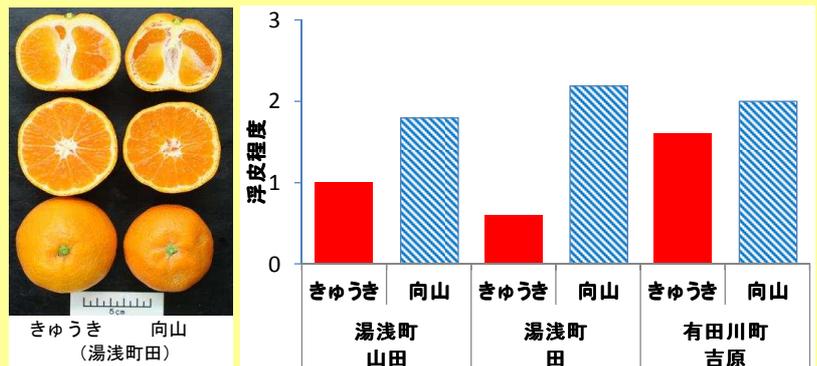


図 6 現地高接ぎ園の ‘きゅうき’ と ‘向山温州’ の浮皮程度 (2015 年 12 月)

## ‘きゅうぎ’の導入にあたっての注意事項

### 樹冠拡大を優先した管理(摘蕾、芽かき、摘心)を心がけましょう

- ・樹勢は‘向山温州’より弱く、定植後からの樹冠拡大は緩慢です。
- ・春葉が小さく、同じ節より複数の新梢の発生が見られます(図7)。
- ・苗木導入年に着花が見られる場合があります(図8)。

### こまめなかん水で苗木を生育させましょう(図9)

- ・過度な乾燥は、苗木の生育を抑制します。
- ・こまめなかん水が望ましいので、ドリップチューブなどかん水設備の導入を検討しましょう。

### 摘果による着果調整が重要です

- ・生理落果が少なく、連年結実しやすい品種です。
- ・スソやフトコロに群状着果するため(図10)、乾燥年は早期に粗摘果しましょう。



‘きゅうぎ’



‘宮川早生’

図7 ‘きゅうぎ’と‘宮川早生’の新梢



図8 着花がみられた‘きゅうぎ’苗木



図9 かん水設備を設置した苗木管理  
(写真は2年生苗定植1年後)



図10 ‘きゅうぎ’の着花と生理落果後の群状着果した枝

## ‘きゅうぎ’導入をお考えの方へ

‘向山温州’よりもわい性で、浮皮程度が小さく、早生温州のような食味をもつ品種ですので、

- ・12月収穫で毎年浮皮が多く、品種更新を検討している方
- ・12月以降に早生温州のような食味の果実の出荷を検討されている方

は、本品種の導入をご検討下さい。